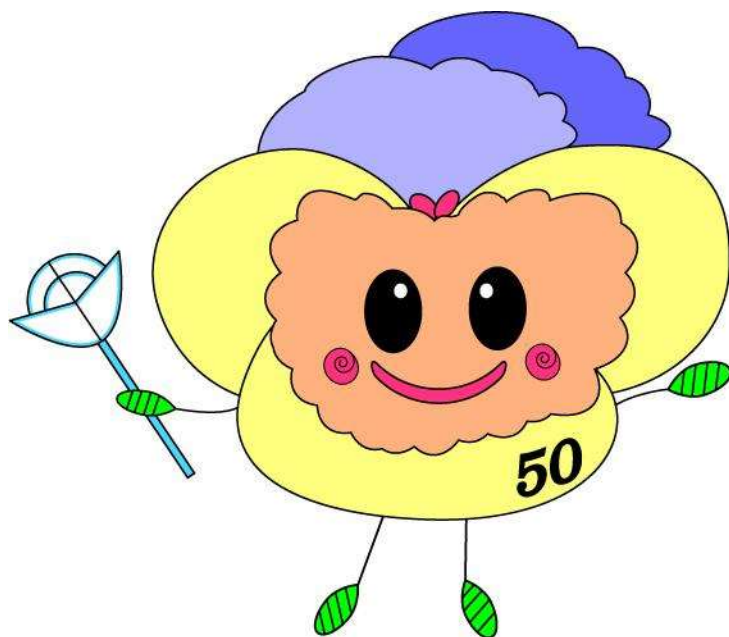


令和5年度 学校教育報告会



- ・学校長より
- ・各学年より
- ・校内研究について
- ・学校評価 集計結果と分析

川崎市立下小田中小学校

今年度も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

1. 学校評価アンケートの結果と考察

11月に5、6年生児童と全保護者の皆様（回答数767）にご協力いただきました学校評価の結果をまとめ、そこから見えてきたものと今後の取り組みについてお伝えいたします。

学校ウェブサイト（ホームページ）に「学校評価集計結果と分析」に各項目の詳しい分析は載せましたので、ご覧ください。また、学校自己評価についても掲載しております。

全体的に、児童・保護者の皆様のアンケート結果は、良好な結果でした。

① 児童の1パーセントは、約3人

「やや思わない」「思わない」と答えた児童の存在を重く受けとめ、背景を考察し、改善に向けて取り組みます。

② 昨年度アンケートと比較し変化のあった設問について

設問10「学習したことが問題を解決することに役立っているか」という設問に対し、昨年度49%の児童が「そう思う」でした。今年度は60%の児童が「そう思う」と答えています。

「やや思う」を含めると88%となり、昨年度とほぼ同じ数値になりますが、「そう思う」と自信をもって回答できたことは成果の一つです。学校は、友達と学ぶから楽しい、意見が違うから楽しく、自分の考えを広げたり、深めたりできるところです。改めて、表現する、意見を出し合う学びを多く取り入れ、子どもたちが自信をもって学べるよう授業改善を行っていきます。

また、見通しをもって取り組むこと、学び方を知ること、既に学んだことを新たな学びに生かすことは、キャリア在り方生き方教育の視点からも大切にしていきたいと考えています。

設問13「されていやなことはしないという気持ちで行動していますか」という設問に対し、「そう思う」は昨年度62%、今年度は68%でした。「やや思う」を含めると93%となります。「そう思う」と自信をもって回答した児童が増えてきています。学校では、多様性を大切にする学びを進めています。児童会・委員会活動など特別活動でも、温かい笑顔あふれる学校にしようと児童自らいろいろな企画を実行してきました。

児童は学校で対人関係も学んでいるところです。そのためトラブルも起こります。教職員はチームで初期対応にあたり、問題解決を促してきました。今後も共生共育プログラム、ソーシャルスキル、SOS出し方受け止め方教育など工夫していきます。

2. 学校生活 感染症について

新型コロナウイルス感染症数はかなり落ち着いてきました。この期間、本当に多くのご家庭のご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。しかしながら、インフルエンザの年間流行や溶連菌、水ぼうそうなど油断はできない状況です。1月以降、数学級で学級閉鎖も行いました。換気や手洗い等の基本的な対策は引き続き行っていきます。その上で、いろいろな体験活動が実施できるよう工夫していきます。

新型コロナウイルス感染症が5類になった関係で出席停止の扱いが変更になっています。出席停止扱いは罹患した場となりました。

3. A棟再生整備

次年度まで学校再生整備工事（リフォーム工事）が継続します。次年度は、A棟東側の残っている教室・特別教室の工事を行います。期間は、今年度と同じ6月～3月の予定です。保護者の皆様にもご不便をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

4. 校庭開放がスタートします。

4月後半から、放課後ランドセルを置いたまま、校庭で遊べる校庭開放が始まります。対象は4年生以上で月火木金のうちの指定された曜日、15時50分までの時間です。改めて、詳細についてお伝えします。

新しい時代を生きる児童が、多様な仲間と共に認め合い、自分らしさを大切にして日々を過ごせるよう、「共に学び、明日が楽しみになる学校」を目指して、努力いたします。今後共、ご協力よろしくお願いいたします。

個別学習室

個別学習室目標 やさしさいっぱい チャレンジいっぱい からだ元気いっぱい

☆1年間の取り組み(合同学習より)

朝の会

朝の会では、誕生月の児童のお祝いをしました。その他にも長縄やゲーム、クイズなど、様々な活動をおこないました。

道徳

きもちのよいあいさつ、生活目標、ルールやマナーなどの基本的なことを学習しました。役割演技や発表など積極的に行う姿が見られました。

音楽

ハンドベル、マラカス、和太鼓などの楽器に挑戦しました。継続して取り組んでいくうちに、リズムを覚えて生き生きと演奏する姿が多く見られるようになりました。

体育

意欲を大切にしながら、楽しく活動するなかで、自信・やる気につながっている様子が見られました。

げんきいっぱいまつり

今年も「げんきいっぱいまつり」を行いました。どんなコーナーがよいか話し合い、今年は「ボーリング」「ワニワニパニック」「輪投げ・おもなげ」「さかなつり」「まとあて」と5つのコーナーに分かれてルールを決めたり、準備をしたりしました。「もっとこうしよう。」と友達と話し合いながら、協力して準備をする姿が見られました。

ピザパーティー

ホットケーキパーティー

今年もみんなが楽しみにしているピザ、ホットケーキの調理を行いました。好きな具材をのせて、完成したピザやホットケーキをうれしそうに食べていました。事前学習の中で、好きな飲み物や食材を買う練習(買い物ごっこ)も行いました。

栽培活動

夏野菜のトマト、ピーマン。冬野菜のカブ、交代で水やりをして育てました。がんばったかいがあり、みんなで収穫できるぐらいたくさん育ちました。

学校報告会資料 1年

【学年目標】

げんきがんばる子・よく見てよく聞く子・友達となかよくする子

【主な活動や学習について】

様々な活動や学習の中で、初めてのことがたくさんの小学校生活に、前向きに挑戦する姿が輝いていました。できることが増える喜びや、やり遂げる達成感を得ていました。一方で、すぐにはうまくできなかったり、苦手なものに気付いたりする経験も、それぞれあったように感じています。そのような中で、はじめはうまくいかなくとも最後まであきらめずに頑張る姿勢も育ってきています。周りの友達の励ましや手助けが頑張る力につながる場面もたくさんありました。

橘公園校外学習

それぞれの季節に公園へ行き、季節ごとに変化する自然を感じました。木々や公園全体の様子から、変化やそれぞれの季節のよさに気付くことができました。同じ活動を繰り返すことで、ワークシートに書く字がきれいになったり、道路を歩くときのマナーがよくなったり等の自分自身の成長を感じるきっかけにもなりました。そして、元気いっぱい体を動かして、友達となかよく過ごした思い出となったようです。

生活科「もうすぐ2年生」

来年の1年生のためにやりたいことや、できることを考えました。その一つとして、近隣の保育園の年長さんを招待して、「小学校のことを教えようの会」をひらきました。保育園の子の前では、どの子も、頼もしく教える姿が見られました。もうすぐ2年生になるという自覚が芽生えてきています。

6年生と一対一交流をしました。四月は教えてもらったり、やってもらったりすることばかりでした。それから何度もいろいろな交流をしてきました。2月には、卒業を間近に控えた6年生にお礼をしたということで、お礼の会を開きました。一年間の学習を振り返り、自分たちで遊びのお店を準備し、6年生を招待しました。当日は、最後の時間を惜しむように時間ぎりぎりまで楽しく遊ぶ姿が見られました。6年生にも立派に成長した姿を見せることができました。

この一年、保護者の皆様には、多くのご協力とご理解をいただき感謝しています。お子さんが、様々なタイプの友達と学校生活を過ごす中で、思い通りにいかなかったり傷ついたりした場面もあったと思います。そのような時でも、周りをせめるのではなく、自分の行動や受け止め方を見つめたり、思いを伝え合って解決しようとしていたりして、毎日をよりよくしていこうとする姿がありました。大らかに前向きな子ども達の姿から、ご家庭の力を日々感じていました。2年生でも、さらなる成長を楽しみにしています。一年間ありがとうございました。

学校教育報告会資料 2年

2年学年目標

- ・目標をもち、友達との活動を楽しめる子
- ・よく聞き、自分の考えをもち、伝えられる子
- ・自分も友達も大切に、仲良く助け合う子

【学習・活動の様子】

☆一人一役実行委員

クラスの代表として様々な活動を経験しました。行事を企画する、クラスに伝達する、ポスターやしおりを作る、野菜を育てる、学年全体の前で話すなど、一人一人が責任をもって活躍する場面があり、成長が見られました。

☆学習に見通しをもち、自分の考えをもつ

ペア・グループ・クラス全体で話し合う活動を積み重ねてきました。4月は緊張していた子どもたちも、徐々に慣れて楽しく友達と話し合うことができるようになってきました。国語を中心に、どの教科でもめあて(つけたい力)や単元の流れを確認することで学習に見通しをもち、自分の考えをもつことができるようになってきました。

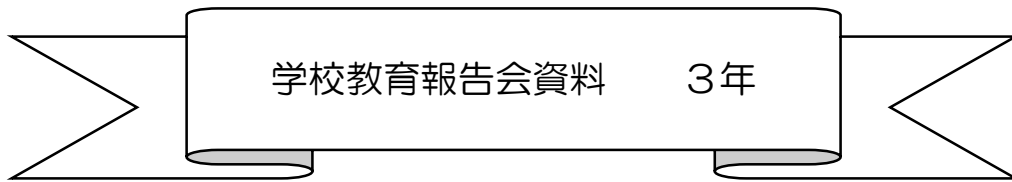
☆GIGA端末を活用した学習の経験

様々な教科、場面でGIGA端末を活用して学習しました。初めての経験が多く、戸惑う場面もありましたが子どもたち同士が温かく教え合いながら学習を進めることができました。友達への伝え方や表現の仕方が広がり、今後の学習に生きる大切な経験になりました。

☆生活科「おもちゃランド」

生活科の学習で作った動くおもちゃを使って、1年生を招待しておもちゃランドを開きました。準備では、グループの友達と協力して遊び方やルールの説明の仕方を一生懸命考えました。当日は、優しく教える2年生、そして楽しそうな1年生の微笑ましい姿をたくさん見ることができました。2年生にとって、1年前の自分と比べて、また4月に1年生に学校案内をした時と比べて、成長を感じることができたようで、達成感や自信につながった学習になりました。

4月からは3年生。理科や社会科、総合的な学習の時間など新しい教科も始まります。子どもたちの更なる成長を楽しみにしております。保護者の皆様には1年間様々な場面でご理解ご協力をいただき、本当にありがとうございました。



【3学年目標】

- ・思いや願いをもち、自分の良さを生かして実現しようとする子
- ・自分の思いを大切にする子
- ・ちがいを認め合い、共に学び合う子

【学習活動の様子】

日々の学習の中で、自分の考えをもつことや伝え合うことを大切にして取り組んできました。一年を通して、ペアやグループで話し合う活動を授業に組み込んでいくことで、自分の思いを話すことへの抵抗感がなくなり、自信をもって発表する姿が多く見られるようになりました。3年生になって初めて行う学習活動もたくさん行いました。一部ですが、以下に紹介します。

総合的な学習の時間「まちに笑顔をとどけよう、下小田中大作戦」

前期は、社会科から発展して下小田中のまちを紹介するカルタやマップを作りました。2年生にも『カルタ交流会』で、下小田中のまちについて紹介しました。後期は、下小田中のまちの中で特に興味をもったパンジー、せせらぎ、国際交流センターの3つにテーマを絞り、調べて分かったことをスライドにまとめました。作成した資料をもとに3年生最後の授業参観でおうちの方々にも発表しました。

社会科「農家の仕事」「店ではたらく人と仕事」

社会科では、パンジー農家やスーパーマーケットの見学をしました。下小田中のまちに住む人々がどのような仕事をしていて、その仕事の工夫は何かなど、実際のお話を聞いたり、様子を見たりして学びました。

保護者の皆様には、一年間様々な場面でご理解ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

学校報告会資料 4年

【学年目標】

- ① 高学年の仲間入りをしたという意識をもつ。
- ② 5・6年生になるために準備をするための1年間だということを意識する。

【学年目標を達成するために】

具体的に目指してほしい行動は…

- ◎人の話をしっかりと聞く。
- ◎自分たちで考え、判断して動く。
- ◎チャレンジをして、失敗から学ぶ。
- ◎相手の思いを受け入れ、友達と力を合わせる。

【学習面と生活面の様子】

① GIGA 端末の活用

学習面、生活面、様々なシーンでGIGA端末を多く活用しました。自分の考えやアイデアを発信する方法としてGIGA端末を活用することで、これまでよりも多様な活動を取り入れることができました。

② 係活動/当番活動/実行委員

各クラスで係活動を行う時間を確保し、アイデアを形にしました。クラスで行う集会を企画したりクラスにポスターを掲示したり、自分の考えを発信する力を伸ばしました。また、計画段階では相手の意見を聞き、自分の考えを伝えるなど、友達と力を合わせることもできました。失敗することもありましたが、次の活動へとつなげる姿がありました。当番活動や実行委員では、一人一役の仕事に取り組むことで責任感が養われました。

③ クラブ活動

今年からの新たな活動として、クラブ活動に取り組みました。上級生との関わりの中で、年齢を問わずに自分の考えを伝えたり上級生の考えを聞いたりすることができました。来年度からの委員会活動に弾みがつきました。

一年間、教育活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございました。4月からは5年生になり、学校を引っ張っていく立場になります。この一年で学んだことを生かし、活躍してほしいと思います

学校報告会資料 5年

【学年目標】

**自分を大切にし、友達と協力する子
進んで学び考える子
友達を認め、思いやる子**

【主な活動や学習について】

様々な活動や学習の中で、高学年としての自覚をもち、前向きに挑戦する姿が見られました。運動会や自然教室などの行事、委員会活動などを通して、友達と協力して活動する楽しさや達成感を味わいました。一方で、友達との関わりの中で気持ちがすれ違うことや、難しい学習に戸惑うことなどもそれぞれあったように感じています。そのような中で、自分の気持ちを言葉で伝える大切さを理解し、粘り強く取り組む姿勢が育まれています。

自然教室

秋にはハヶ岳で2泊3日の宿泊行事を行い、共同生活の中で自然を大切にする心や友達と協力して過ごす楽しさを学びました。中でも、「自分から進んで物事に取り組み行動する」という点において、大きな成長を感じました。しおりを見て見通しをもって行動する、時間を守る、互いに忘れ物がないか確認する、など担任の声かけがなくてもお互いに声をかけ合い進んで行動することができました。自然教室が終わり、通常の学校生活に戻った後も、自主的に行動する大切さを各クラスで伝え、一人ひとりがクラスの一員として積極的に関わることができるよう指導してきました。

総合「21世紀を守り抜け～下小田中のためにできること～」

SDGsの目標11番「住み続けられるまちづくり」について自分ができることを調べたり探したりしました。地域の掲示板を見たり、各種イベントに参加したり、あるいは自ら地域の清掃活動に取り組んだ児童もいました。そしてその調査や実践をした上で、「下小田中のためにわたしができること」を保護者参観で発表しました。「これからは食品ロスをなくすために、給食を残さず食べます。」「ポスターを作って、公園をきれいに使うように呼びかけます。」などの宣言が見られました。

この一年、保護者の皆様には、多くのご協力とご理解をいただき感謝しています。家庭科のミシンの学習では保護者の方にご協力いただき、子どもたちはスムーズに学習に取り組むことができました。子どもたちは学校生活の中で、自分の行動や受け止め方を見つめたり、思いを伝え合って解決しようとしていたりして、毎日をよりよくしていこうとしています。大らかに前向きな子どもたちの姿から、ご家庭の力を日々感じていました。来年はいよいよ最高学年。6年生でも、さらなる成長を楽しみにしています。一年間ありがとうございました。

学校教育報告会資料 6年

【学年目標】

可能性！

～勇気があれば、挑戦できる！成長もできる！～

○勇気がある子 ○挑戦する子 ○成長する子

【主な活動や学習について】

年間を通じて学年目標に大きく近づけた行事として、運動会、1年生との交流、スポーツフェスタ、修学旅行と発表型保護者参観が挙げられます。

【運動会】

6年生の運動会は今までとは一味違って、自分たちの競技だけでなく、運動会を支える係の仕事がありました。応援団・開閉会式の司会進行・得点係・用具係など様々な場面で活躍する6年生の姿を何度も目にすることができました。また、自分たちの種目では、可能性を高めるために多くのものに挑戦して一丸となって輝く姿を見せることができました。

【1年生との交流】

入学したばかりの1年生が早く学校生活に慣れるようにと、掃除や給食のお手伝いを行いました。1年生に頼られることで6年生がもっていた優しさや責任感がより引き出されていました。また、ペアになった1年生に喜んでもらうために、その子に向けて手作りの絵本を製作する活動を総合的な学習の時間を使って行いました。相手意識をもち活動することの大切さを実感する学習になりました。

【スポーツフェスタ】

自分たちで種目を考え、クラスメイトと互いに真剣に取り組みました。自分たちに何ができるのか話し合い、協力し合い、各クラス一丸となって8の字跳びや各種目に参加することができました。本気で仲間とぶつかり合い高め合うことのできた行事となりました。

【修学旅行】

修学旅行では、歴史的な建造物や大自然が生み出す景色をたっぷり味わうことができました。また、友達と過ごした時間は、一人一人にとって特別な時間になったようでした。友達の存在の大切さを改めて実感することができていたようです。

【羽ばたきの会】

発表型保護者参観「羽ばたきの会」では、「成長と感謝」をテーマにした小学校生活最後の授業参観を行いました。発表を通して、改めて自分たちの成長と、家族の方々から受けていた愛情に気づくことができたようでした。この経験は、中学校に進学してからも、そしてこれからの人生を生きる上でも、きっと一人一人の心の支えとなることと思います。

この6年間、保護者の皆様には本校の教育活動におきまして多くのご理解とご協力をいただき感謝しております。誠にありがとうございました。

○学校目標

共に学び、明日が楽しみになる学校

- 根…自主・自立 命を大切にし、力を合わせて取り組む子
- 智…質の高い学び 自ら考え、主体的・対話的に学ぶ子
- 和…共生・協働 互いを認め合い、思いやる子

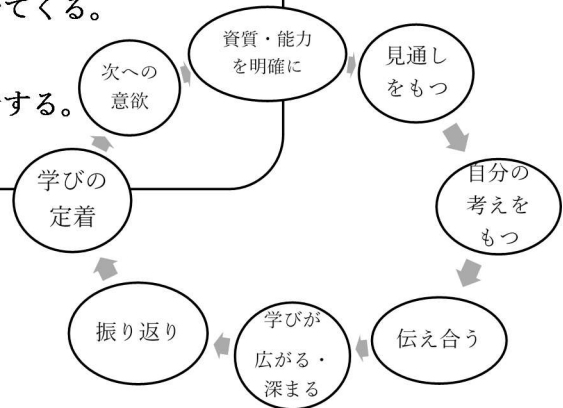
○研究テーマ

自分の考えをもち、伝え合う子

～目指す資質・能力を明らかにし、見通しと振り返りを大切に～

学校教育目標の質の高い学びの実現に向けて、今年度も国語科を中心に研究を進めてきました。子どもたちが自ら考え、互いの考えを伝え合う主体的・対話的な学びを目指して以下のサイクルを大切に授業に取り組みました。

- ①資質・能力を明確にし、見通しをもてるよう掲示物の工夫をする。
- ②見通しをもったり、友達と伝え合ったりすることで、自分の考えをもつ。
- ③自分の考えをもつことで、伝えたいという思いがでてくる。
- ④伝え合うことで、考えを広げたり、深めたりする。
- ⑤めあてに沿った振り返りをすることで、学びが定着する。
- ⑥次への意欲へとつながる。



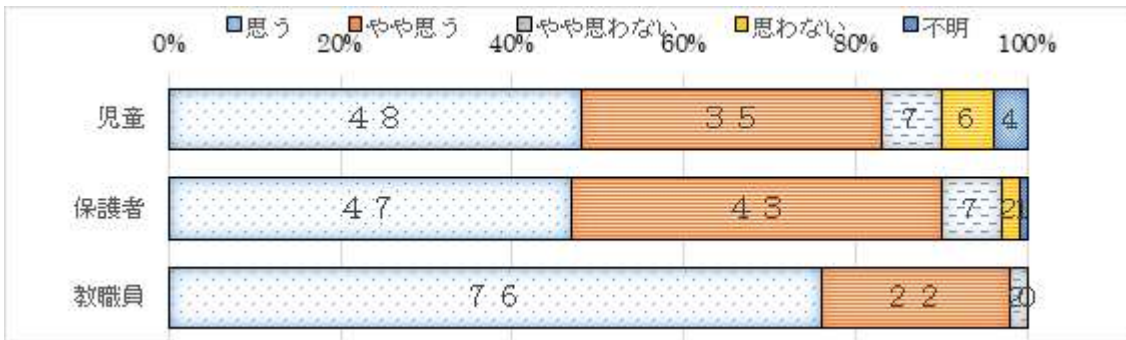
○研究の成果

今年度は国語科の中でも物語文や説明文などの読むことの学習に重点を置いて研究を進めてきました。どの学年でも、一つひとつの言葉を大切に読み進めるために音読や動作化などの様々な方法を取り入れてきました。音読や動作化などを通して感じた自らの思いや考えをペアやグループで交流することで、新たな視点に気付いたり、自らの考えを深めたりする子どもたちの姿が多く見られました。ペアやグループの少人数での交流を通して、自分の考えを伝える楽しさや喜びを感じることでできる子どもたちが増えてきたことは大きな成果であると感じています。今後は、子どもたち同士が自分たちで意見をつないでいく力を伸ばし、自らの考えを深めたり広げたりできるよう、より充実した伝え合う学習を目指していきたいと考えています。

令和5年度 学校評価 集計結果と分析

設問1

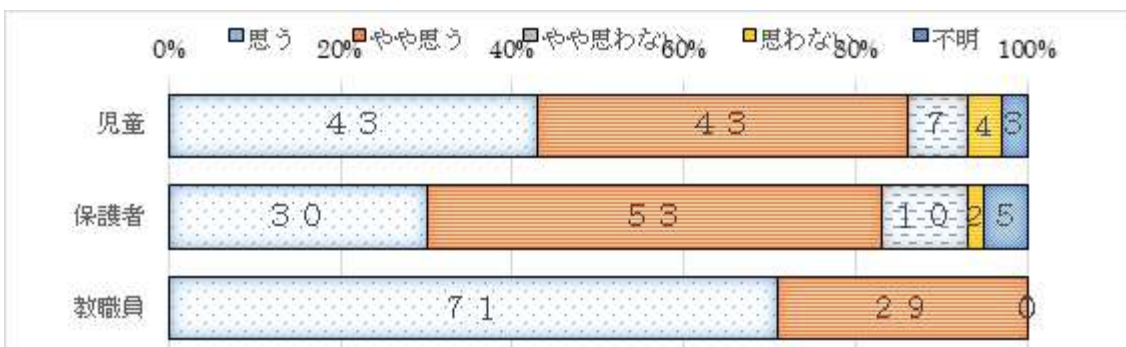
- (児) 学校での学習は、楽しいですか。
(保) お子さんは、学校での学習を楽しんでいますか。
(教) 楽しい学習になるように努めていますか。



子ども達、保護者ともに8割以上が「楽しい」または「楽しんでいる」と回答しています。本校の学校教育目標は「共に学び、明日が楽しみになる学校」です。日々の学習や生活の中で「分かった。できるようになった。」ことが楽しさにつながると考えますので、指導や対応の工夫を続けていきます。また、一人一人の様子をよく把握し対応することが、子ども達への支援において重要ですので、引き続き保護者の皆さんと連携を取りながら大切にしていきます。

設問2

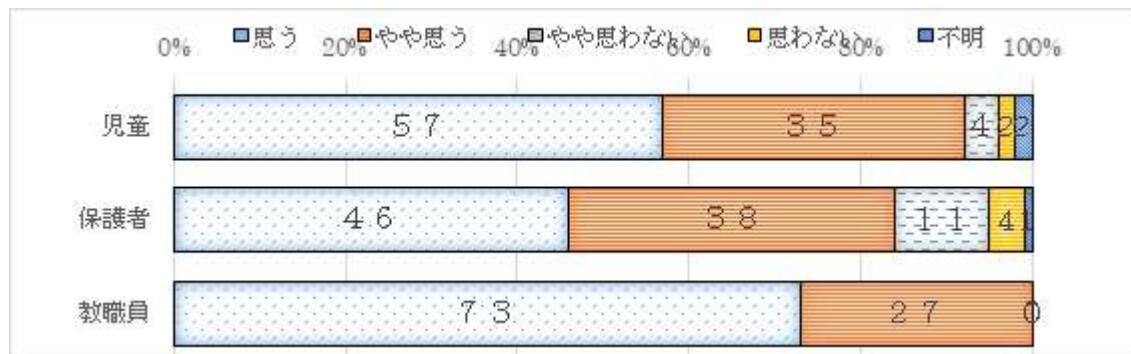
- (児) 自分をふりかえり、よいところを生かそうとしていますか。
(保) お子さんは、自分をふりかえり、よいところを生かそうとしていますか。
(教) ふりかえりを行い、子ども達が自分のよいところや成長に気づけるようにしていますか。



本校では、各教科の授業や行事などにおいて、めあてや見通しをもって取り組むとともに、自身の成長を実感できるように振り返りをするを大切にしてきました。その結果、子ども達、保護者ともに「思う」「やや思う」の回答が8割以上となったと考えます。教職員としても、子ども達のよいところや頑張りを更に伝え、自己肯定感を高める学校・学級づくりを進めていきます。

設問3

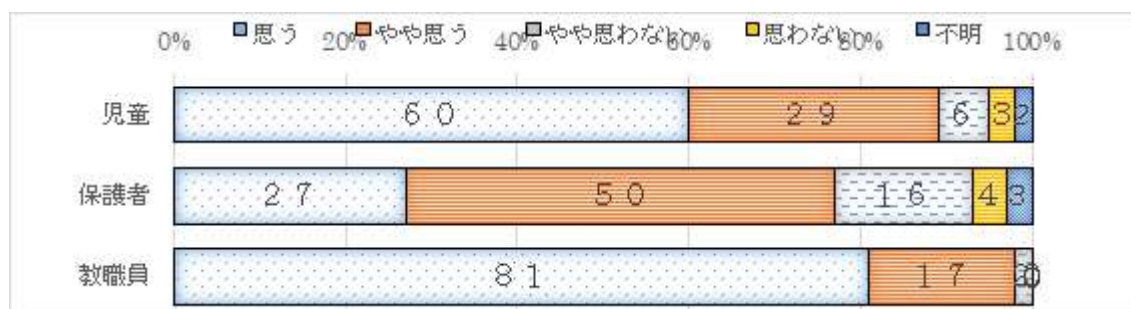
- (児) 行事や児童会活動・学級活動では、自分達で考えて協力して活動しようとしていますか。
(保) お子さんは、学校行事や児童会活動・学級活動での様子を、家で話していますか。
(職) 行事や児童会活動・学級活動では、自分達で考えて協力して活動できるように努めていますか。



昨年同様、「思う」「やや思う」と答えた子ども達が9割を超えました。本校では、前述のように各自がめあてをもち活動後に振り返りを行うことに加えて、担任が頑張りや成長を認め価値付けることを重視してきました。その結果、子ども達自身が、自分達で考え協力できた実感を得られたのだと思います。また、「思う」「やや思う」と答えた保護者が8割以上と高い結果となりました。今後も、子ども達の様子を実際に見る機会や、学校ウェブサイトや紙面などで様子をお伝えすることを大切にしていきます。

設問4

- (児) 目標をもち、挑戦しようとしていますか。
(保) お子さんは、目標をもち、挑戦しようとしていますか。
(職) 目標をもち、挑戦できる機会を設けていますか。



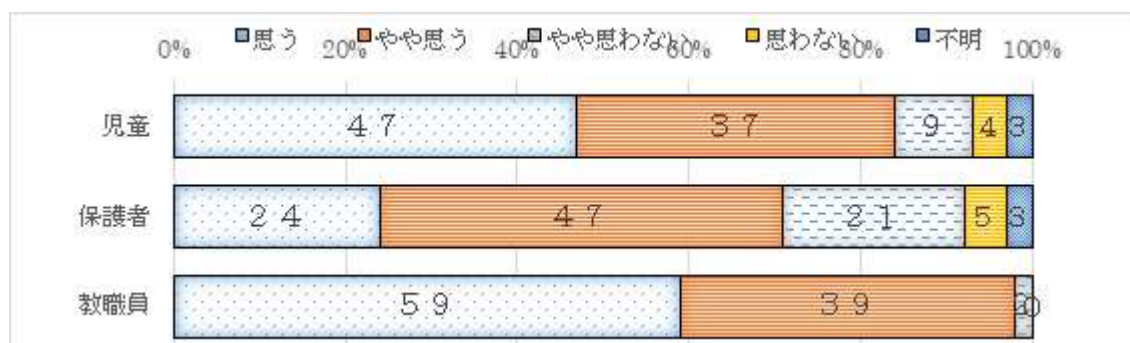
児童の9割近くが「思う」「やや思う」と答えています。目標をもち粘り強く挑戦する態度の育成は、学校行事だけでなく各教科の学習活動の中でも意識して取り組んでいます。各学習で「この学習でできるようになること」を具体的に提示して活動に臨むようにしてきました。また、振り返りの時間をとり、次への意欲につながるよう進めてきました。目標をもつことは、達成までのプロセスを具体的に考えることができ、明確に意識することで、前向きに主体的に学習に向かう姿勢もついてきます。今回の児童の回答から、目標をもつこと挑戦することの良さや大切さなどが実感できていることがわかります。今後も児童の挑戦する意欲、目標に向かって工夫や努力をする姿勢を応援していきます。

設問5

(児) 自分の健康について、考えて生活していますか。

(保) お子さんは、自分の健康について、考えて生活していますか。

(職) 健康について、考えて生活できるように声をかけていますか。



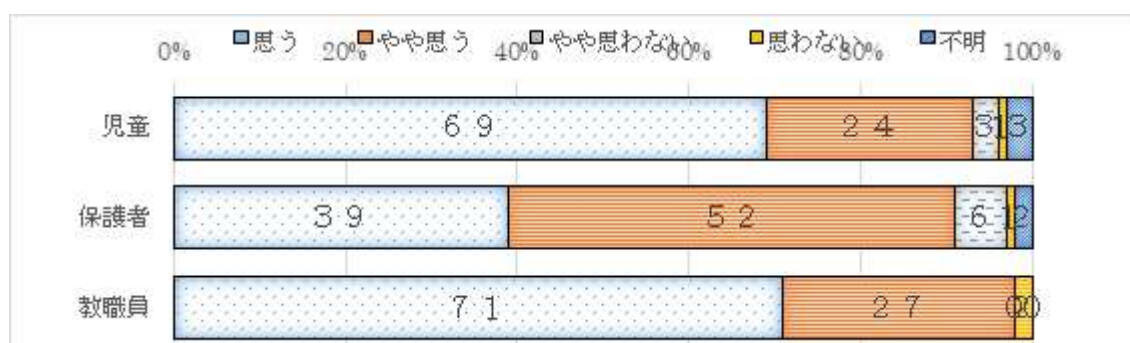
8割以上の児童が「健康について考えて生活を送っている」と回答しています。教職員も意識して声をかけをしてきました。行動制限がなくなった今年度ですが、引き続きみんなが元気でいられるようにと、子ども達同士で予防策を意識して、心がけて生活を送っていました。ただその一方で、休み時間後には怪我、週明けは体調不良を訴える児童が増えてきていることもあり心配しています。あらためて集団生活の場での過ごし方、規則正しい生活について児童自身で意識できるように健康教育、食育などの充実を図っていきたいと考えます。さらに大切にしていきたいのは「心」の健康面です。共生*共育、人権尊重教育等を引き続き大切に、また、誰にでも相談できる環境づくりを進めていきます。

設問6

(児) 防災・防犯訓練や交通安全教室などを通して、安全・安心に気をつけて学校生活を送っていますか。

(保) お子さんは、防災・防犯訓練や交通安全教室などを通して、安全・安心に気をつけて学校生活を送れるように努めていますか。

(職) 防災・防犯訓練や交通安全教室などを通して、安全・安心に気をつけて学校生活を送れるように努めていますか。



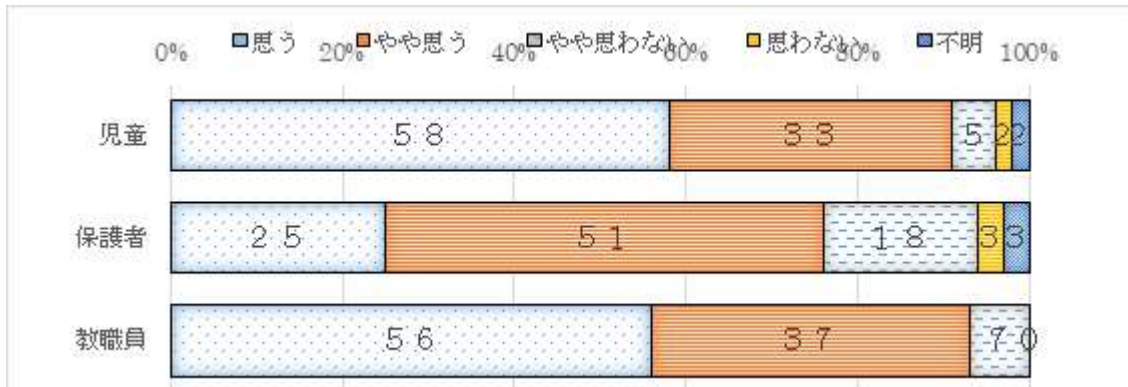
「思う」「やや思う」を含めると9割以上の保護者の方が学校の安全対策を評価していると読み取ることができます。また、子ども達も「思う」「やや思う」の回答が9割を超え、昨年度とほぼ同様の結果となっています。昨年度から、災害時の避難訓練・引き取り訓練に加え、不審者が侵入した際の防犯訓練にも取り組んでいます。今年度は消防署・警察署の方々のご協力もいただき、より意識を高めることができました。引き取り訓練では、保護者の方々にもご協力をいただき、スムーズに訓練を進めることができました。今後も安心・安全な学校を目指し、より一層の努力をしてまいります。引き続き、保護者の皆様の協力をお願いします。

設問 7

(児) 課題(問題)について、調べたり話し合ったりして解決しようとしていますか。

(保) お子さんは、課題(問題)について、調べたり話し合ったりして解決しようとしていますか。

(職) 課題(問題)について、調べたり話し合ったりして解決する学習を行っていますか。



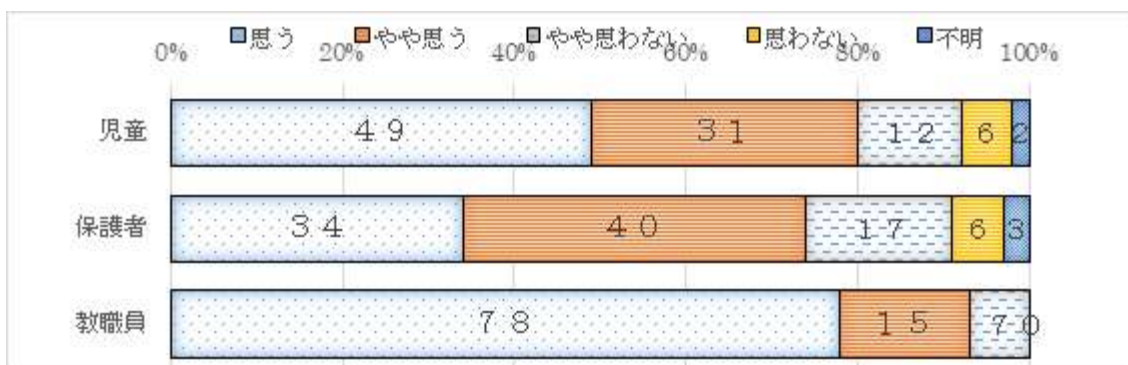
課題について、調べたり話し合ったりして解決しようとしていると回答した児童が、9割以上になりました。昨年度に比べても「思う・やや思う」の割合が伸びています。自分の考えを伝え合う学習に力を入れたことや、GIGA 端末を利用した学習が課題の解決に役立ったと考えられます。保護者の方への発信の仕方についても工夫していきたいと思います。

設問 8

(児) 自分で考えたり、それを表現したり、友達と意見の交流をしたりする学習は好きですか。

(保) お子さんは、考えたり、それを表現したり、友達と意見の交流をしたりする学習は好きですか。

(職) 考えたり、それを表現したり、友達と意見の交流をしたりする学習を行っていますか。



8割の子ども達が「好き」と回答しています。共に学び、自分の考えを伝えたり友達の意見を聞いたりする学習の楽しさを、感じていることがうかがえます。

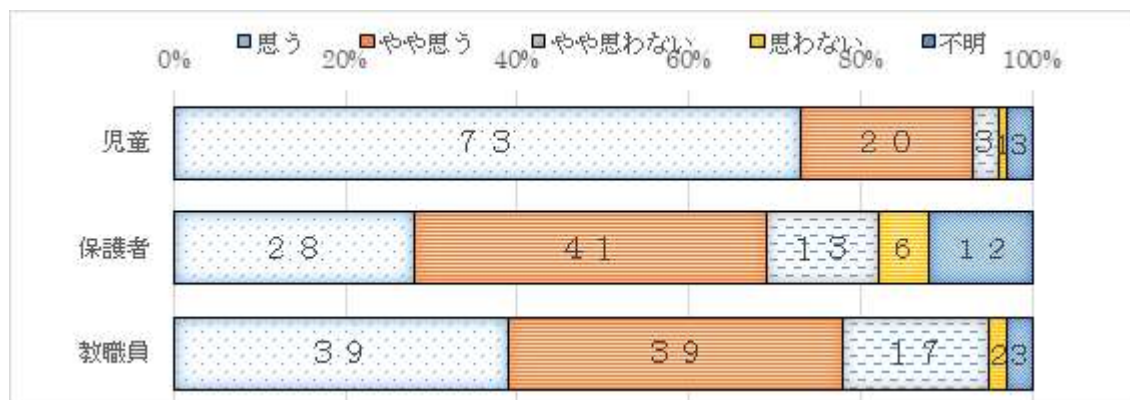
校内研究では、「自分の考えをもち 伝え合う子」をテーマに国語の学習に取り組み、伝え合うことで学習を深めていく姿が見られました。苦手意識がある子ども達が自信をもてるよう、今後も指導の工夫・改善をしながら、学習活動全体で主体的・対話的で深い学びを目指していきます。

設問 9

(児) GIGA 端末を使うことが、学習に役立っていると思いますか。

(保) お子さんは、GIGA 端末を学習に役立てていると思いますか。

(職) 学習に役立つように GIGA 端末を活用していますか。



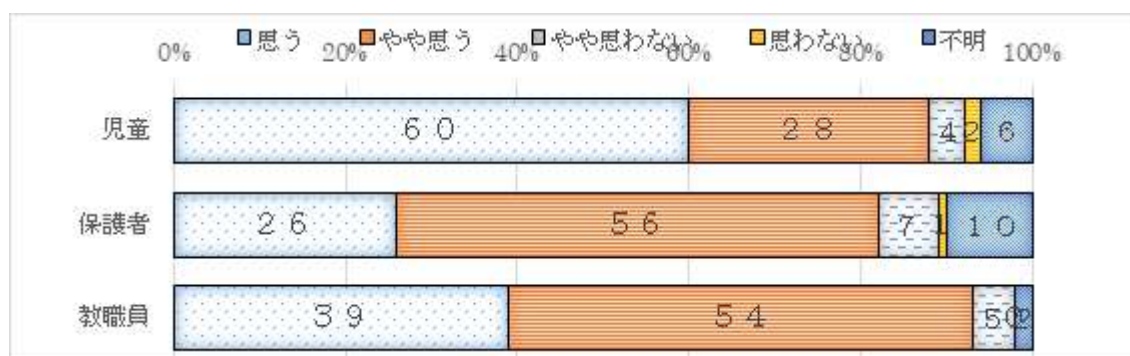
子ども達の9割以上が、GIGA 端末は学習に役立っていると回答しています。本校では「自ら考え主体的・対話的に学ぶ子」を目指しています。子ども達は、日々の学習の中で他者とつながることを通して、学びを深めたり広げたりしています。これからも、授業で効果的に端末を使うことで授業改善を図っていききたいと思います。また、GIGA 端末を使っていく中で、こちらの意図しない方向でいろいろな問題が出てくることあるかと思いますが、引き続き保護者の皆さんと連携を取りながら、正しい使い方でも効果的に学習に生かしていくことができるよう、支えていききたいと思います。

設問 10

(児) 学習したことが、問題を解決することに役立っていますか。

(保) お子さんの学習したことが、問題を解決することに役立っていると思いますか。

(職) 学習したことが、問題解決に役立つような学習を設定していますか。



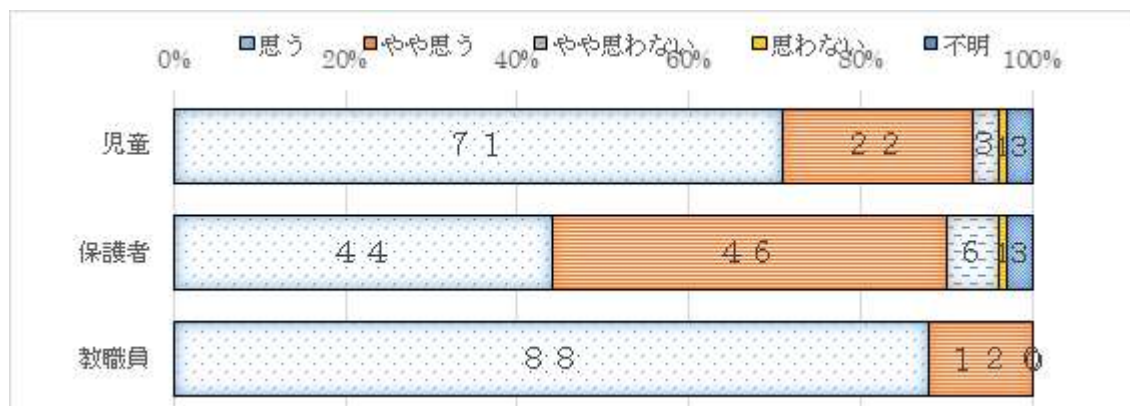
どの立場でも、「思う」「やや思う」と答えている割合が8割を超えています。中でも子ども達が「思う」と答えた割合は、昨年度に比べ1割以上増え6割を超え、「やや思う」を加えると9割近くとなりました。子ども達は、これまでの学びが次の課題解決に役立っていることを実感していると考えられます。つきたい力を教師も子どもも意識し、見通しをもって主体的に学習し振り返る力を伸ばしていきけるよう学校全体で取り組んでいきます。これまでの学びを生かしながら課題を解決していく力は大切なので、今後も「既習を生かして学習を進めていく」よさや大切さを伝えていききたいと思います。

設問 1 1

(児) おたがいのよさやちがいを、認め合っていますか。

(保) お子さんは、お互いのよさや違いを、認め合うことをしていますか。

(職) お互いのよさや違いを認め合えるよう努めていますか。



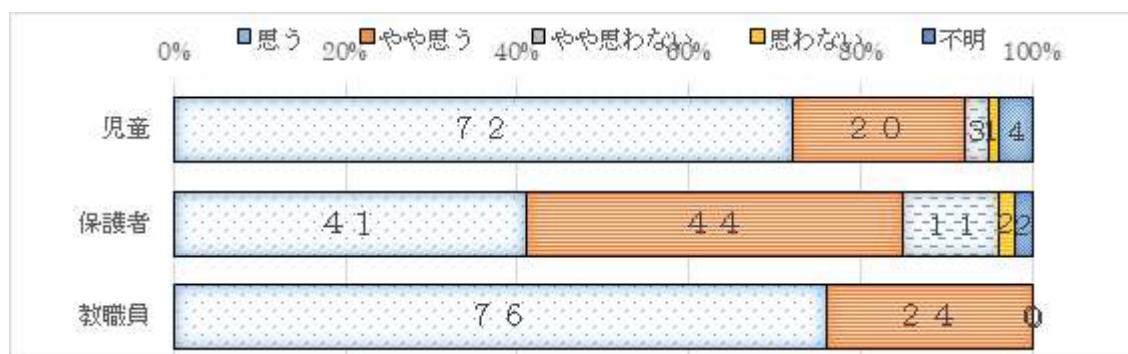
昨年同様、「思う」「やや思う」と答えた割合がどの立場でも、9割を超えました。毎日の授業の中で、互いのよさやちがいを認め合い思いやる心を大事にしてきました。また、道徳教育や人権尊重教育において、じっくりと考え話し合う機会をとったり、共生*共育プログラムにおいてお互いのよさやちがいを認め合う機会を多く設定したりしてきました。今後も、少数の認められていないと感じている子ども達の気持ちにも寄り添いながら、日々の生活や学習の中で立ち止まって考えることを続けていきたいと思えます。

設問 1 2

(児) 先生は、あなたの話を聞いてくれると感じますか。

(保) お子さんは、困ったことや心配なことを、家で話していますか。

(職) 子ども達の話に耳を傾けていますか。



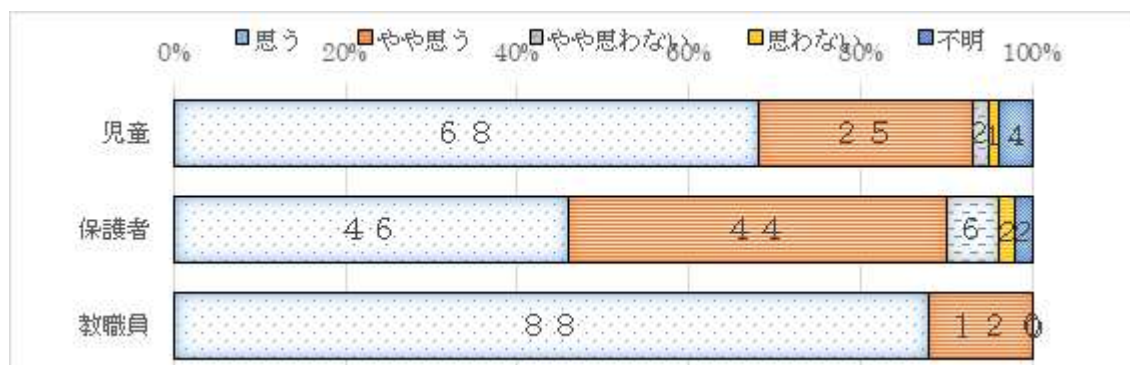
昨年度よりも「思う」「やや思う」が少し増え、「思わない」が若干減りました。今年度も、学級担任だけでなく、支援教育コーディネーターや学年担任、養護教諭などの教職員が、組織的な体制で対応してきました。子ども達が、「先生は話を聞いてくれる」とより感じてくれるよう、今後も子ども達の心の声に寄り添いかかわっていきたくと思っています。昨年度から行っている SOS 出し方教育の授業を継続し、充実させていきます。また、学校巡回カウンセラーとも協力して、保護者のみなさんと一緒に子ども達を支えていきたくと思っています。何か気になることがありましたら、ご連絡いただければと思います。

設問 1 3

(児) 「されていやなことはしない」という気持ちで行動していますか。

(保) お子さんは、「されていやなことはしない」という気持ちで行動していますか。

(職) 「されていやなことはしない」という気持ちで行動できるように、指導していますか。



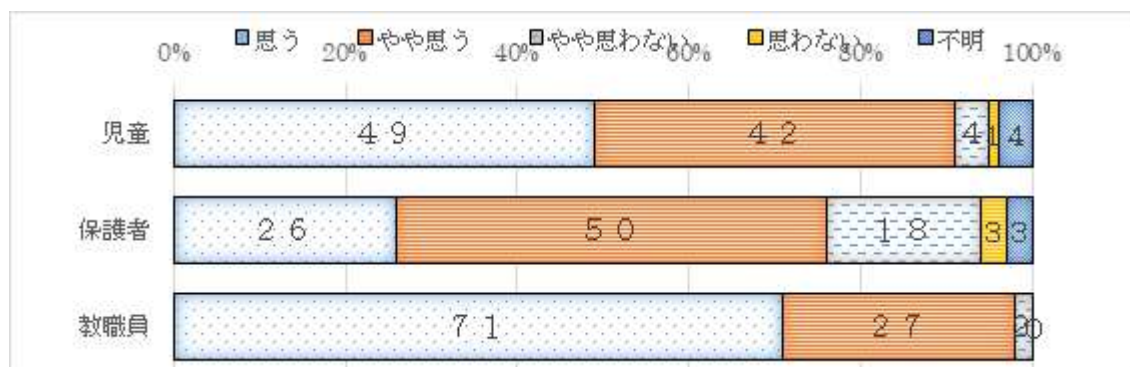
「思う」という児童や保護者が昨年度より増えています。今年度は、「みんなが安心して過ごせるために」という授業を全クラスが行いました。具体的な場面を取り上げながら、「なぜいけないのか。どうすればよかったのか。」など、相手の気持ちを考えて行動することや困った時に相談することの大切さを一緒に考えてきました。人とかかわりながら学んでいくことが多い学校生活の中で、人を大切にする力を身につける機会にしていきたいと思います。

設問 1 4

(児) よりよく生活するためにあいさつをし、言葉づかいに気をつけていますか。

(保) お子さんは、よりよく生活するためにあいさつをし、言葉づかいに気をつけていますか。

(職) 「みんなのやくそく」を大切に生活できるように声をかけていますか。



今年度は学校生活における重点目標を「気持ちのよいあいさつをしよう」にし、昨年度に引き続き年間通して取り組んできました。年3回「あいさつ」について振り返り、具体的なよい姿を意識して取り組めるような指導を心がけてきたことや計画委員会で工夫して取り組んでいることも、よい方向につながっていると感じます。

「みんなのやくそく」については、よりよく集団生活をおくるために、意味や理由を再度確認しながら、ふり返るようにしてきました。今後もご家庭と協力して、地域の中で生活していく子ども達を見守り指導していきたいと思います。